

平成23年度  
実施事業

事務事業名 市営住宅周辺整備事業（市営住宅物置建替事業）

区分	No	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	2	良好な居住空間づくり
小分類	3	快適な公営住宅の供給
主要な施策	1	公営住宅の計画的な改修整備
事務事業番号	029	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	都市整備部	グループ名	建築住宅G
-----	-------	-------	-------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	老朽化している既設物置（屋外付帯施設）の建替えを行うことにより、既設市営住宅の安全性及び居住性能の確保を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	老朽化している物置（市営住宅の屋外付帯施設）を建替えする。  【事業実績】 ・ 柏葉団地4号棟物置 建替戸数4戸
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	計画に基づき継続して円滑に実施できるように予算化に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	公営住宅法、社会資本整備総合交付金交付要領、登別市営住宅等長寿命化計画

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円		950	2,050	2,050	10,500
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		688	2,050	2,050	10,500
事業費 合計			0	1,638	4,100	4,100	21,000

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	建替戸数	戸	目標値		4	12	12	72
			実績値		4			
			目標値					
			実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 建物所有者である市が実施主体となつて、適正な維持管理の観点から建替すべきである。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 耐用年数が相当あり、今後も長期に市営住宅として提供するため、長寿命化を目指し、改修事業を計画的に行う必要がある。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 事業について、国庫補助事業や有利な起債を有効活用できる。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 入居者の声も参考にして合理的に整備している。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	老朽化の著しい物置が多いため、継続して改修事業を計画的に行う必要がある。
-----------	----------------------	--------------------------------------

行政評価会議による評価

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--